



《 ECOツーリズム 》

“生態系や自然環境に配慮し、旅を通して、
自然に対する理解を深めようとする考え方”



暑中お見舞い申し上げます。半年過ぎました。が、

能登の復興が遅々としている状況が気がかりです。皆さまの前半年は、いかがでしたでしょうか？

4月のトーク総会を終え、新たな年度のスタートを慌ただしくやり過ごした、第一四半期。ぶどう畑はカサ懸けを済ませ、落ち着いた様相を取り戻し、秋の完熟に向けて順調にすすんで居ります。今年は関西からの応援がいただけず、担当が苦労されました。機を見て、ムジプロの若人が飛び入りで応援に参加。今後農事支援の道筋が見えてきました。

財団の運営に関しては、各担当から多彩な質問・要望などをいただき、次世代に向けた体制づくりに掛かりました。具体的には、先の春号に記した内容に沿った、役割分担および財団運営の進め方です。詳細は後記いたします。

設立以来、多々の皆さまにご支援を賜り、やっと今日まで。サスティナブルに継続するために様々な課題が見えてきました。特に、自身”80歳の壁”に挑戦中の身。ポスト前田を心配される皆さまからこころ遣いいただき、励まされています。ジェネラティビティ＝次世代への引継ぎが代表を務める私自身の課題と受け留めています。

取り敢えず、要望のありました常駐者の確保は、当方自身が GV に在することといたしました。初期のリノベーションの場として、想い出深いワイン蔵／BUTTOBI(旧納屋)に住む事といたしました。機会ありましたら、覗きください。当方の、“終の棲み処？” “一ちゃんギャラリー”として、あきる野の蔵書など並べて、ライブラリーを兼ね備えました皆さんの新しい生き方の参考に資すれば・・・と願う次第です。



春、余市えこふぁーむから沖縄へと一ヶ月の旅に。雪解けのふぁーむで自転車転倒⇒大けが。肋骨にヒビが入ったようで、難儀した旅のスタートとなりました。有機栽培農場に春の植え付け／農事支援などなんか果たし、沖縄へ。こちらでは、すでにジャガイモが発芽して、一ヶ月ほど早くに成育。余市で、根雪の消えた畑起こしから植え付けまでした、北の農業の厳しさを思い知らされた次第です。雪解けから秋の収穫まで限られた短い期間での農事の忙しさが肌身感じた次第です。

沖縄は、本土復帰の平和の日(5月15日)から辺野古へ。これまでのオール沖縄の元気さは失せ、静かな平和行進でした。馴染みのリーダー達は、自衛隊配備に抗議して南西諸島に移動したようです。先年、セルラースタジアム／那覇でオール沖縄の皆さんから喝采を受けた翁長知事の不在が惜しまれ、残念でありませんでした。



辺野古3601日目
座り込み抗議

皆さんの声は、“脱植民地”に変わり、自主自立／自己決定権の主張に変容していました。

今回は、以下の内容となります。

1. 帰ってきた、若人／ムジプロ同窓会 “古民家でスローライフ！”



帰ってきた若人 “古民家でスローライフ！” ムジプロ同窓会

昨秋、人数集まらずキャンセルとなり、気になっていた若人／無人島グループが中心になって、5月に40名の大人数の若人が参集。新たなスタートをされました。

リーダーは以前錦糸町のムジプロ仮泊所で会った、陸前高田の地域起し協力隊員の若人。先発して、

下見に来られ、プログラムなど打合せした上での受入。結果は大人数でしたが、なんとか所期の期待通りの結果となり、皆さん再会を楽しみに、元気に“新たな出発！”をされました。

初めに座敷2部屋をぶちぬき、全員に“生きる目標は？”と問いかけ、開示いただきました。日頃気にも留めず、考え行動してない様子で戸惑っていた若人もいました。が、滞在中活発に相互啓発／交流され、充実した二日間。”自分らしい”新しい生き方＝日々研鑽ライフの緒につかれました。10月／次回の再会が楽しみです。

2. 居場所あ・い・る ⇒ 地元への広報活動～拡がり

新たに、“ぶどうの花”／親の会がスタート

旧称”甲斐のまがり家”以来、古民家を最も多く、活用いただけてきました。また、地域の皆さんへの呼びかけなども積極的に行動され、ぶどうの郷財団の理念を体しての、合致した存在です。地元紙の度重なる取材にも応え、広報の役割を担っていただいています。

不登校児童への対応と合わせて、居場所の重要性が叫ばれる今日、ますます多忙なようです。

今春からは、不登校児童を抱える親の居場所“ぶどうの花”の会を立上げ、互いに話し合い、情報交換し、ホッとする、癒しの空間／時間を過ごす機会を用意され、子育ての応援に資して居ります。

他方、機会見てイベントなどに企画および参加。様々な取組みをされています。今春には、甲州市の外郭団体主催イベントのエシカルマルシェに参加。自らの行動をチェック、エシカルアクションに努めています。



昨秋につづき、童謡コンサートも今月末(7月28日)の夕方企画。子供たちが集い、親子で夏の夕べを涼んで帰られました。

居場所が単なる癒しの場にならない、子供たちの真の成長に資するよう期待する次第です。

3. 春のガーデニング “棚下は、むせるばかりの草の息／元気すぎる草花！！！”

”異常気象”と呼ぶ時は過ぎて、温暖化は恒常的になってます。春先からの植物の生育は早まって、農事作業なども急かされ、繰り上がって進められていました。秋の収穫も早まるかも？庭先やら周辺の道端の草花も繁茂のスピードが早まり、春から夏にかけての草花も早くに開花。また、賑やかに咲き誇っていました。また雑草の種類も多種に！！特に、横にはびこるつる草なども異常繁茂。草生栽培のぶどう畑のつる草は幹やら支柱にまき付き棚上にまで伸びあがり、棚上に出て天日を受けえてます。熱帯雨林が太陽を求めてライトコンペティションをしている様に類似して見受けられます。

当然に、草取りに追われ、多忙な毎日。また、数度にわたる作業を強いられるこの頃です。皆さんのボラパンティア支援を待望する次第です。

4. 財団の新たな体制と運営方針 / GV のビジョン

★経営理念 『 当財団は 生態系や自然環境に配慮し、健全・正常な活動を考え
・実践し、地域社会の持続的な発展に寄与いたします 』
⇒ SDG's／**エシカルアクション**と合致している”と確認

フリートーク／5月末 新たなリクエストをいただきました。

- ・役割分担
 - 学舎ほか管理全般 前田栄一代表／再任、補佐:佐藤浩美／市議員
 - 管理担当 佐々木敏一理事
 - 山林 中川孝／賛助会員
 - ぶどう栽培管理 松岡数人理事／中原ワイナリー
 - 学舎活用／あ・い・る 河西みどり理事、佐藤浩美／賛助会員
- ・課題
 - 駐車場の確保 中川孝／賛助会員 ⇒早速、春棚上げいただきました
 - 旧蚕室／二階改装 古民家の耐震強度など、確認／調査中
 - HPおよび営繕担当 佐々木理事および前田真彦／サポーター
 - 茶の湯／地元への啓発 佐々木敏一理事
 - 農福連携 勝沼授産園 前田栄一代表 さきに記した、若人／ムジプロ受入再開
 - “Buttobi”／納屋の活用 代表の常駐スペース＋ライブラリ＆ギャラリーに！

・その他／報告事項

財団の運営全般をオープンにして、次世代への引継ぎを滞ることの無きよう手続きを整理中。人・物・金・情報を効率よく活用すべく、模索中です。具体的には、財団のビジョン・目指すべき方向を広く周知／ホームページの拡充。

茶の湯会用の茶器など牧野氏／えこふあーむより寄贈受入⇒古民家奥に収納。

次世代の若人／ムジプロは目的・目標意識を明確にして扱われるよう

⇒5月に、40名で試行。新しい生き方に気づかれて、離れられました。

好評～再会／次回10月末が楽しみです。

⇒6月初め、有志2名再来。カサ懸け作業に従事。受入準備など、

天候等に合わせた農事作業スケジュールへの対応 “**ECO&LE**”化が課題。

平地飼育養鶏／アニマルウェルフェア(AW)・太陽光発電／電力自給などは、継続課題



★築50年過ぎの古長屋／貸家(甲府)の今後について、佐々木理事に視察いただきました。
新年度から経営理念／設立目的に沿ったSDG's／
エシカルアクションを新たな行動指針として、取組んできてます。
脱プラ／マイボトル持参、エシカルクッキング／飲食残しなし、ゴミの減量／3R など・
健康のためにも歩く、自転車。車は物品運搬に。移動は公共交通を利用することか。

〔下期に向けて／計画概要〕

上期と同様に継続し、**エシカルアクション**。持続可能なぶどうの郷づくりに尽力いたします。

“農福連携”のほか、財務基盤強化の新たな取組みをはじめめる段。

・下期の取組み

- ① “農福連携” 地域への連携事業など、まずは、勝沼授産園に声かけから
- ② 近隣の農事支援／体験⇒農芸学舎の“**ECOビレ**”化なども視野に入れて
- ③ 賛助会員拡大⇒HPを活かして、WEB募集の定着
- ④ Buttobi／ワイン蔵の活用 ⇒ “一ちゃんギャラリー&ライブラリー”に！！
- ⑤ “**Autumn Fest／収穫祭**”（秋のトーク会）11月3日／予定 ⇒早まるかも？！
- ⑥ 貸家／LCS 事業の安定 ⇒ 収支の計画／安定化／古長屋対策
- ⑥ 2階／旧蚕室のワーク／ホームシェア化 ⇒ 耐震など再考中

引き続き、ご理解・ご支援のほどよろしくお願いいたします。



Generativity 次世代へのスムーズな引継ぎ エコツーリズム／経営理念に沿った、人育て
その他、 離れの和室を学舎の書道・ソロバンなどの学習／研鑽スペースに開放いたします。

“焦らず、慌てず、侮らず” に、**着実な漸進を！**

設立当初の経営理念・目的／定款に則した、“ブレナイ”活動をつづけます。

運動・笑顔・交流／免疫力の維持高揚に努め、“こころを楽園に！”

良寛さんのスローライフ＋養生訓／貝原益軒 で、生き抜かれますよう

令和 6 年 7 月 末

ECO〔環境保全〕フォーラム

事務局 前田栄一

一般財団法人ぶどうの郷創生機構

【お願い】 最後の、今年も賛助会員のお声かけの期になりました。これまでのご支援・ご鞭撻が励みとなり、
今日まで続けられました。次世代に繋ぐべく、引き続きのご支援をお願いする段。お払込み用紙を同封させて
いただきます。

暑中につき恐縮ではございますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

前田栄一